

工事中の消防計画届出書

年 月 日

殿

防火管理者

住 所 _____

氏 名 _____

管理権原者

住 所 _____

氏 名 _____

工事施工者

住 所 _____

氏 名 _____

| | |
|----------------------|---------|
| 防火対象物の所在地 | |
| 防火対象物の名称 | |
| 防火対象物の用途 その他必要な事項 | |
| ※ 受 付 欄 | ※ 経 過 欄 |
| | |

- 備 考 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
2 ※印の欄は、記入しないこと。

工事中の消防計画

※ 本計画に定めるもの以外のものについては、既定の消防計画によります。

1 工事計画及び施行に関すること

| | | |
|------------------------------------|-----|--|
| 1 工事概要 | | |
| 2 工事日程表 | | |
| 3 工事範囲 | | |
| 4 機能に支障を生じる消防用設備等 | 有・無 | |
| 5 機能に支障を生じる避難施設等 | 有・無 | |
| 6 火気を使用する設備器具（以下「火気設備器具」という。）等の使用等 | 有・無 | |
| 7 危険物等を取り扱う作業等 | 有・無 | |
| 8 連絡先 | | |
| 9 緊急連絡先 | | |
| 10 その他 | | |

2 工事中の防火管理体制に関すること

1 出火防止対策

(1) 日常の火災予防

ア _____を別表1「日常の火災予防組織」のとおり指定し、それぞれの任務に従って日常の火災予防を行う。

イ _____は、別表2「日常の自主検査チェック表」を用いて、担当区地内の日常の火災予防について毎日自主検査を実施する。

ウ _____は、自主検査の結果、異常が認められたときは、_____に報告し、指示を受けて対処する。

エ その他

(2) 放火防止対策

ア 建物の外周部及び階段等には、可燃性の工事用資材又は梱包材等は置かないようにする。やむを得ず置く場合は、整理整頓し難燃性シート等で覆い保管する。

イ _____は、作業終了後、最終的に施錠を確認する。

ウ 工事関係者以外の者の工事部分等への立入りは禁止とし、_____が、工事部分等への出入りをチェックする。

エ その他

(3) 喫煙管理

ア 喫煙をする場合は、_____の喫煙場所で行う。
なお、喫煙場所には、その旨を掲示する。

イ _____は、毎日作業終了後に吸殻を集め、指定された不燃性容器に入れて処理を行う。

ウ その他

(4) 延焼拡大防止

ア _____ の周囲には、延焼媒体となる可燃物や開閉障害となる物品を放置しない。

イ 工事中は、作業のため必要がある場合を除き、_____ は努めて閉鎖する。

ウ 防火戸、防火シャッターは、作業終了後、努めて閉鎖する。

エ その他

2 相互連絡体制等

(1) _____ は、火災予防上必要な事項について、必要に応じて、工事責任者等に指導、監督を行う。

(2) _____ は、工事関係者等と工事の開始前に十分協議を行う。

(3) 工事責任者は、工事の開始・終了の報告、溶接・溶断作業の事前報告、危険物品の持込み・使用の事前報告を _____ に行う。

(4) 工事部分内又は使用している部分から火災が発生した場合は、相互連絡体制を図る。

(5) その他

3 地震対策

(1) 日常の地震対策

ア 地震対策を実施する責任者は、_____ とする。

イ 建築物の倒壊、施設物の転倒、落下防止及び火気設備器具からの出火防止を重点とし、次の事項について予防措置を実施する。

(イ) 工事用資機材等の転倒防止措置

(イ) 工事用足場、資材等の落下、飛散防止措置

(ウ) その他

ウ その他

(2) 地震後の安全措置

ア 工事関係者は、地震が起きたら直ちに直近の火気設備器具の元栓、器具栓の閉止又は電源遮断を行い、_____はその状況を確認する。

イ 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。

ウ 各設備器具等は、安全を確認した後に使用する。

エ _____は、地震動終了後、工事部分等を点検、確認し、被害状況を_____に報告する。

オ その他

(3) 警戒宣言が発せられた場合の対応措置

すべての作業を中止し、自衛消防隊を活用して、次の事項について被害防止措置を実施する。

ア 工事中足場等転倒、落下のおそれのあるものの点検と補強

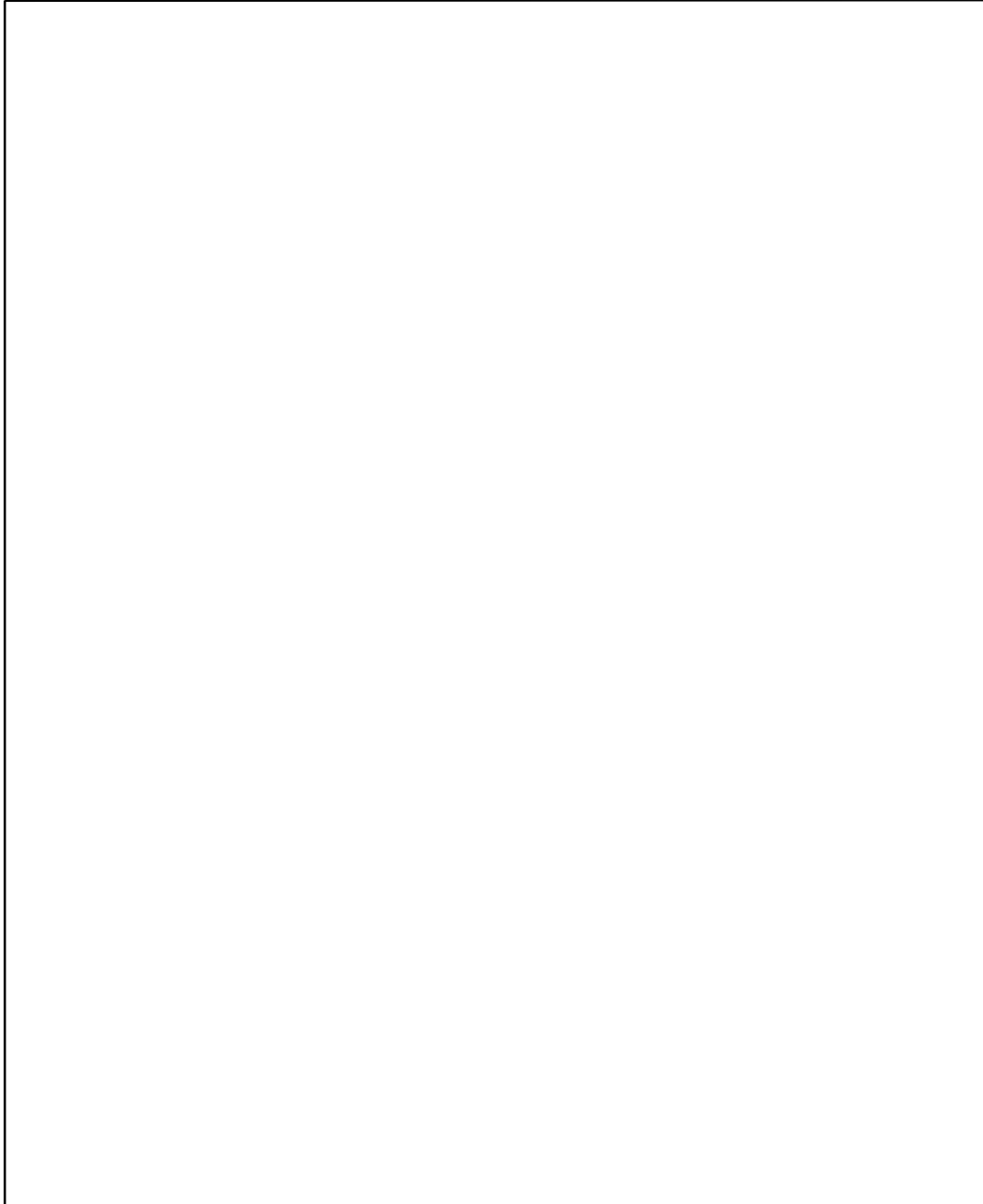
イ 警戒宣言が発せられた場合の、全工事関係者への周知徹底

ウ 危険物品等の安全な場所への搬出

エ その他

4 自衛消防について

組織の編成



- * 1 この組織編成表は、_____の見やすいところに掲示する。
- * 2 各係及び係員の指定は、工事現場の規模、工事関係者の数に応じて、具体的に任務分担し、自衛消防活動については、工事関係者に配布する「防火管理マニュアル」により周知徹底する。

3 工事期間中の工事関係者への教育・訓練の実施及び工事中の消防計画の周知に関すること

1 防災教育

(1) 防災教育の実施時期等

防災教育の実施時期、実施責任者、実施対象者、実施回数は下表のとおりとする。

| 対 象 者 | 実 施 時 期 | 実 施 回 数 | 実 施 責 任 者 | | |
|---------|---------|---------|-----------|--|--|
| | | | | | |
| 工事関係者全員 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(2) 防災教育の内容

| 対 象 者 | 実 施 内 容 |
|---------|---|
| 工事関係者全員 | 1 工事中の消防計画について 2 遵守事項の徹底について 3 災害発生時の対応要領について |
| | 1 工事中の消防計画について 2 各自の任務分担と責任範囲について 3 日常の火災予防の徹底について 4 自主検査チェック表による自主検査の徹底について 5 災害発生時における工事部分と使用している部分の連絡体制の徹底について |

(3) その他

2 訓練

(1) 訓練種別及び実施時期等

| 訓練種別 | 実施時期又は 実施回数 | 参加者 | 訓練内容 |
|------|----------------|-----|------|
| 消火訓練 | | | |
| 通報訓練 | | | |
| 避難訓練 | | | |
| 総合訓練 | | | |

(2) その他

3 工事中の消防計画の周知に関すること

- (1) 防火管理者は、前記の防災教育及び訓練を通して、全従業員、工事関係者に対して工事中の消防計画を周知徹底する。
- (2) 全工事人に「防災管理マニュアル」を配布し、消防計画に定める遵守事項について徹底する。
- (3) その他

別紙 1 機能に支障を生じる消防設備等の代替措置に関すること

| 1 消防用設備等 | | |
|-------------|----------|---------|
| 種類・区域 | 支障を生じる期間 | 代替措置の概要 |
| | | |
| 2 管理の方法等 | | |

別紙 2 機能に支障を生じる避難施設等の代替措置に関すること

| 1 避難施設及び非常用進入口等 | | |
|-----------------|----------|---------|
| 種類・区域 | 支障を生じる期間 | 代替措置の概要 |
| | | |
| 2 管理の方法等 | | |

別紙 3 火災発生危険等に対する対策に関すること

| 1 火気設備器具の状況及び火災の発生のおそれのある機械器具等 | | | |
|--------------------------------|------|---------|-------|
| 種類・数量 | 使用場所 | 使用期間・時間 | 設置方法等 |
| | | | |
| 2 管理の方法等 | | | |

別紙 4

危険物品等の管理に関すること

| 1 危険物品等 | | | |
|-------------|------|---------|----------|
| 種類・数量 | 使用場所 | 使用期間・時間 | 堆積・設置方法等 |
| | | | |
| 2 管理の方法等 | | | |

別表 1

日常の火災予防組織

| | 防火担当責任者 | 業務 | 火元責任者 | 業務 |
|---------|---------|----|-------|----|
| 防火管理者 | | | | |
| 防火管理責任者 | | | | |